

かもしがいち

加茂市街地地区

(新潟県加茂市)

- 計 画 期 間 平成 26 年度～平成 30 年度
- 面 積 770 h a
- 交付対象事業費 803.9 百万円
- 市人口 25,390 人

ポイント

安全で快適な暮らしよいまち

地区概要

住宅密集地に防災空間としての公園等のオープンスペースを整備し、中心市街地の道路拡張事業に併せ歩道部分に不燃木材を使用した雁木づくりアーケードを建設する

目 標

既成市街地内の都市基盤整備を進め災害に強い地域づくりを進めると共に、北越の小京都の風情を持った魅力ある街づくりを進める

指 標

整備された公園・広場が周辺住民に避難場所として認知されているかを把握し、広場で開催するイベントの参加者を把握する
雁木づくりアーケードの歩行者数を把握する
加茂市の名所、旧跡を巡るツアーの参加者数や市内各所にある交流施設の利用者数を把握する

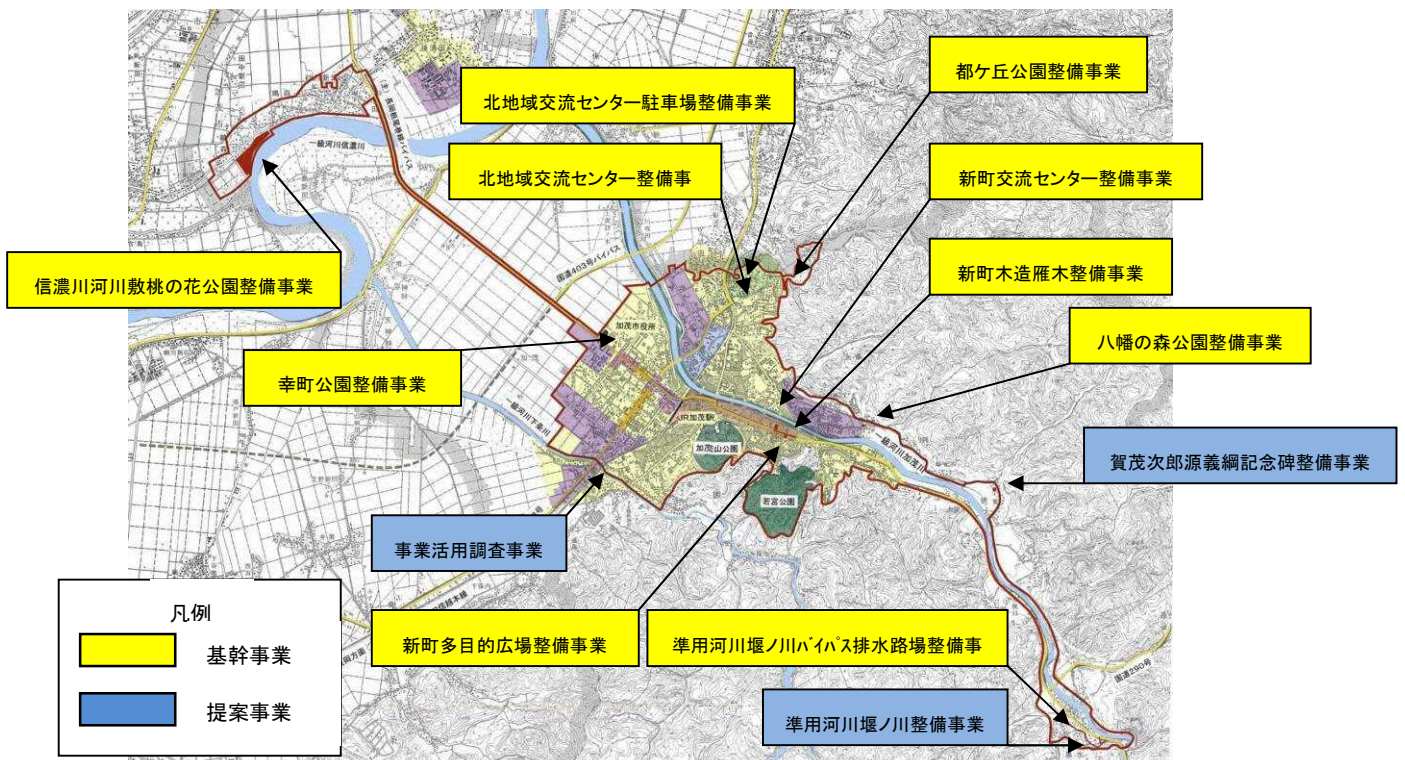
歩行者数	450 人 (H26)	→	348 人 (H30)
避難場所の認知度	0% (H26)	→	55% (H30)
探訪ツアーの参加者数	150 人 (H26)	→	759 人 (H30)
交流施設の利用者数	272 千人 (H27)	→	249 千人 (H30)
黒水地区における浸水予想面積	3.2ha (H29)	→	0ha (H30)

黒水地区における浸水予想面積を把握する

事業内容

基幹事業 (886.3 百万円) → 公園 (4 箇所)、高次都市施設 (地域交流センター 1 棟)、地域生活基盤施設 (多目的広場 1 箇所、駐車場整備 1 箇所、排水路整備 98m)、高質区間形成施設 (木造アーケード 480m)、既存建物活用事業 (交流センター 1 棟)

提案事業 (24.6 百万円) → 地域創造支援事業 (河川整備 130m、記念碑整備 1 箇所)、事業活用調査事業



地区の現況と課題

加茂市市街地地区は、三方を山に囲まれ加茂川の清流沿いに形成された地域で、自然・風土・街の風情から「北越の小京都」と呼ばれている。

昭和 42・44 年の大水害で既成市街地に河川改修が実施され、その移転地として西地区に新たに市街地が形成された。

中心市街地は JR 信越本線加茂駅を表玄関としたメイン通りに 8 商店が連なり、駅から順に近代化事業が実施され現在、7 商店街目の新町街区で道路拡幅事業と商店街近代化事業が実施されている。

近年の突発的な異常災害等に対して素早く対応できる都市基盤整備を進め安全で安心して暮らせる地域づくりと、文化的古民家等を保全し北越の小京都風情を持った魅力あるまちづくりが課題となっている。

提案事業の特徴

準用河川堰ノ川浸水対策事業

災害に該当しないような降雨でも恒常的に浸水する未整備の小河川整備を、地域創造支援事業により実施する。

賀茂次郎源義綱記念碑整備事業

平安時代の武将で歴史上の英雄である賀茂次郎源義綱の記念碑やその周辺の整備を、地域創造支援事業により実施する。

計画策定プロセス

加茂市では中心商店街を守るために都市計画法に基づく地区計画区域を指定し郊外型大型店の出店を抑制し商店街を保護している。

平成 17 年度から 21 年度において加茂川周辺地区都市再生整備事業で中心市街地に地域交流センター等の公共施設を配置し既成市街地の再生に取り組み、平成 20 年度から 24 年度では加茂市西部地区都市再生整備計画事業で災害に強いまちづくりを目指して、避難道路の新設や公園、広場などの都市基盤施設の整備を行った。



浸水対策事業、バイパス排水路の吐口



北地域交流センター



雁木通りでのお祭り



完成した木造雁木